

国際フロンティア理工学教育プログラム
東工大学生のための「科学・技術の最前線」特別講演会

カリフォルニア大学サンタバーバラ校 (UCSB)

谷本 俊郎 教授

「地球観測の歴史と展望」

2015年12月9日(水) 13:20 - 14:50

西5号館3階 レクチャーシアター

谷本俊郎先生は、日本で物理学科を卒業後、地球物理学専攻の修士課程へ進み、さらにカリフォルニア大学バークレー校博士課程でPh. Dを取得、その後国際的に活躍してきた著名な地震学者です。

谷本先生は地震波トモグラフィーの理論的基礎を構築し、地震観測グローバルデータの解析により、弾性波速度など地球内部物性の3次元構造を明らかにしました。

今回は、全地球観測の歴史と今後の展望について、国際的研究者の視点から、初心者にもわかりやすく講演をしていただきます。

学部1年生はもちろん、その他の学部学生・大学院生・教職員など多くの方々の聴講をお待ちしております。

問合せ先： 理学系事務グループ rig.jim@jim.titech.ac.jp



Prof. Tanimoto, UCSB